



よいた

町だより 町長川上文平書

No. 81

3月号

昭和48年3月10日 発行／与板町 (代表者与板町長川上文平) 編集 与板町だより編集委員会



春がもうそこまで..... (与板保育園おゆうぎ会より)

3月は、まず3日のヒナ祭からはじまります。わたくしたちの、このヒナ祭にまつわる思い出はさまざまです。歴史のきびしい歩みのなかで、おヒナさまをど持ってをかつた時代もあったことでしょう。でも、ヒナ祭については、なんとなく甘く、また感慨ぶかい記憶もありましょう。また、3月はまだまだ寒い日もあり、時には雪の降ることも、めずらしいことではありませんが、お天気さえよければ日ざしも明るく、そよそよと吹く風もなま暖かく、なんとなく気分がうきうきしてくるのがふしぎです。

人口の動き

2月28日現在
()は1月末との比較

人口	7,949人 (-5人)
男	3,850人 (+1人)
女	4,099人 (-6人)
世帯	1,800 (-5)
出生	8人
死亡	8人
転入	10人
転出	15人

- 春の全国交通安全運動.....2
- 座の初公演は.....3
- ベトナムに救援を.....3
- でんでんコーナー.....3
- 私達の川をきれいに.....4
- 校長先生から励まし.....5
- 一日入学.....6
- みんなの作品.....6
- 子どもを水から守る運動.....6
- ポストコーナー.....7
- 与板のたからもの.....7
- おしらせ.....8
- 保健衛生だより.....8

おもな内容は

保健衛生だより

3月12日(月) 午後1時30分から3時まで
乳児検診 母子センター
対象者 S47. 4. 2~S47. 9.30迄出生児

3月22日(木) 午後7時~10時まで
新婚、婚前学級 公民館(予定)

4月3日(火) (予定)
13時30分から15時まで
生ポリオ投与 母子センター
対象者 第1回目 S.47. 6. 1~S.47.12.31迄出生児
第2回目 S.47. 1. 1~S.47. 5.31迄出生児

4月11日(水) 母子センター
妊婦検診 13時から14時30分
母親学級 14時30分から16時

4月13日(金) (予定) 13時30分から15時まで
種痘 母子センター
対象者 S.46. 6. 1~S.46.12.31迄出生児



産業育成資金融資条件の一部変更について
日頃商工業者の皆さんから運転資金や仕入資金などにご利用いただいている産業育成資金の融資額や期間などが四月から次のように変わりますのでご利用下さい。
一、融資期間 十二ヶ月 (現行六ヶ月)
二、融資利率 年七% (現行七・五%)
三、貸付限度額 百万円 (現行八十万円)
四、その他現行どおり

。詳細は役場産業課へお問い合わせ下さい。
ニカラガア地震災害の救援募金のお礼
先般、実施いたしましたニカラガア地震に対する救援募金に、町民各位のご援助、ご協力をいただき、募金額十二万八千三百十五円もの多額な成果で終了させていただきましたことに衷心より厚く御礼申し上げます。
尚、救援金は、新潟県支部を通じて、罹災地に送付されましたので、ご報告いたします。

ります。期限間近になりますと相談・提出会場が大変混雑しますので、できるだけ早い時期におでかけください。
なお、確定申告をした後で内容がまちがっていたことに気づいた方は、いらつしやいませんか。確定申告がまちがっていたときは訂正することになります。
税額を少なく計算していたとき、「修正申告」をして正しいものにするのができます。
税額を多く計算していたとき、「更正の請求」をすることが出来ます。
確定申告を忘れていたときは期限後でも確定申告をすることが出来ます。
狂犬病予防注射
犬の放し飼いや取り締まり強化

化月間が一日から始まりました。
飼い主は、狂犬病予防法と犬取締条例を守らなければなりません。もし、放し飼いにしておくと、人に迷惑をかける事とともに、犬にとつても一番恐しい野犬狩りの人に会う事になります。愛犬をそんな目に会わせまいよう、かわいがってください。
狂犬病予防注射を次の通りおこないます。愛犬をつれて最寄りの会場でお受けください。
期日 四月十八日(水)
会場 黒川公民館
九時半~十時
都野神社
十時半~十一時半
保健所
一時半~二時半

運動の重点

- 一、スクール・ゾーンの設定促進と定着化
- 二、母親と子どもに対する交通安全教育の充実
- 三、運転者等に対する交通安全指導の徹底



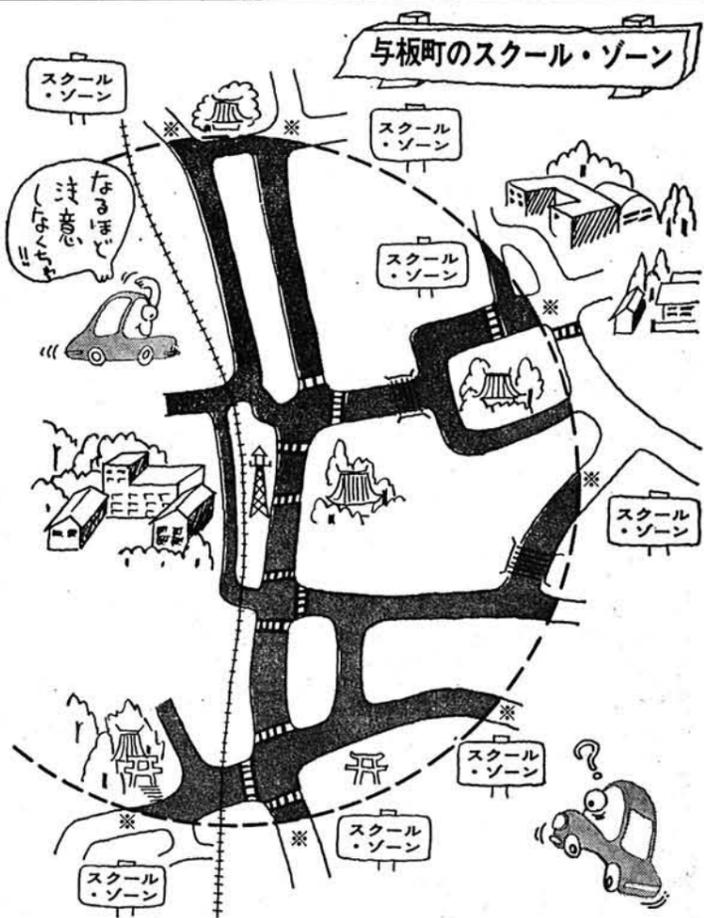
春の全国交通安全運動はじまる

準備期間 = 3月6日から4月5日まで (1ヵ月間)
 運動期間 = 4月6日から4月15日まで (10日間)

学校は、来月から、いよいよ新学期が始まります。新入児童も交通戦争の中にまきこまれるわけですが、かわいらしい一年生が交通事故でけがをしたり、命を失ったりすることは、何としても防ぎたいものです。

五日から始まる「春の交通安全運動」は、日本人の平均寿命が延びる一方で、交通事故による犠牲者の数は年々ふえるばかりです。全国では三十三分七秒で一人、新潟県では十九分四十七秒という割合で死亡者が発生しております。中でも子どもが交通事故が多いことは悲慘です。とくに学校からの帰りみちや土曜日に多く発生するという「交通安全白書」をみますと、お母さんはおうちでどうすることもできません。お子さんには、くれぐれもよくいつて聞かせるより方法はないわけでは

さて、今年の春の全国交通安全運動は、歩行者、運転者、運転者の雇い主、その他陸上交通に関係するすべての者に交通安全思想の周知徹底をはかり、正しい交通ルールの実践を習慣づけ、交通事故



防止の徹底をはかる目的でおこなわれますが、歩行者、とくに新入児童および幼児(以下子どもという。)の事故を防止するために、つぎの施策を中心に事故防止対策を徹底して実施します。

①スクール・ゾーンの設定促進と定着化
 小学校・保育所等を中心としたスクール・ゾーンの設定については、別図のとおり、昨年春の全国交通安全運動以来推進してきました。

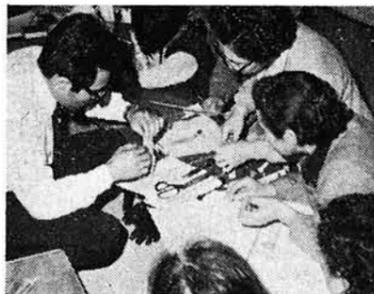
とくに、運転者は子どもを守るためスクール・ゾーン内の交通安全の励行を守ると

もに通学、通園時の車輛の運行についてはとくに協力を願います。

②母親と子どもに対する交通安全教育の充実
 子どもを交通事故から守るためには、信号機や歩道などの交通環境の整備、運転者の指導取締りなど、子どもの安全確保のための諸対策を強力におし進めることが当然必要

なことです。子どもに多いとび出しや、車の直前直後の横断などの事故は、交通環境の整備などだけでは防ぐことができません。

☆ ☆ ☆
 ことしのお春さん
 早くきすぎて
 ☆ ☆ ☆
 なんべんもく
 忘れ物をとり
 いたりきたり
 ☆ ☆ ☆
 もう、いいかげんにしなヨ
 冬君の終業ベルが
 鳴るヨ!!
 ☆ ☆ ☆
 なんととア
 そそっかしい
 又、コンコンと……
 ☆ ☆ ☆
 ベルベルベル
 「春分の日」のこと。
 ☆ ☆ ☆
 カアーン カアーン
 カアーン
 調子のよい音
 ☆ ☆ ☆
 小学校の杭打ちの音に
 いつの間に
 足君、調子をあわせて
 歩きたす、
 ☆ ☆ ☆
 小学校の前を歩くと
 ☆ ☆ ☆
 たのしそうな
 子ども達の歌声
 中でも、足君
 主人の意志に反して
 また、また
 のちやつたア
 ☆ ☆ ☆



婦人会が毎月おこなっている社会学級は婦人一般教養から趣味講座、料理教室、手芸教室、社会問題や子どもについての講演会、ねん土細工(楽焼)……ets. 二月十九日からは童心にかえるのか「影絵しばい」と手広い学級。

その日、公民館に二十人余りのおかあさんが集まって、教育委員会の牧野主事の指導

〇〇座の初公演 いつなの!!

全指導等の徹底
 運転者は、歩行者、とくに子どもの保護意識を高めるとともに、飲酒運転、高速暴走運転等運転者の基本的な交通マナーの欠如に起因する交通事故の絶無と安全運転の励行を徹底するように願います。

か、交通安全を内容とするもの
 小学校下学年の部
 「ぼく(わたし)が気をつけていること」
 「おかあさんのおしえてくれたこと」
 「みちをわたるとき」
 小学校上学年の部
 「交通事故をなくするには」
 「ぼく(わたし)が考える(知っている)スクール・ゾーン」
 「自転車に乗っていてあぶなかつたこと」
 「交通事故をなくするには」
 「自転車に乗るときに気をつけること」
 「ぼく(わたし)が考えるスクール・ゾーンのあり方」
 高等学校の部

「人と車と社会」
 「交通事故をなくするには」
 「二輪車事故の防止」
 作文の長さは、小学校については四百字づつ原稿用紙三枚以内、中学生・高校生については同五枚以内縦書きとする。

今すぐ! ベトナムに救援を!!

長い間の戦争で苦しんできたインドシナの人々にやっと平和の基礎がもたらされました。しかし、戦争の傷あととは、インドシナの難民に深く残っています。戦争によって家を焼かれ、すべてを失ない、爆撃や戦闘によって、かけがえのない家族を奪われ、傷ついた者をかかえて、その深い苦しみを、なお抱えています。このような300万人にのぼる戦争犠牲者が、南ベトナム・北ベトナム・カンボジア・ラオスで救援を待っています。

日本赤十字社は同アジアの国の赤十字として、国際赤十字と協力し医療援助、食料等緊急物資や救援資金の送付、赤十字代表の派遣等、現地の要望に応じ必要な人道援助を広範かつ大規模に全力を尽しております。この大規模な緊急援助をするため、皆様からの救援金を受付けています。皆様のご協力ご援助をお願いします。

救援金受付期日 = 3月31日まで

「受験生に温かい励ましの電話を」
 春も三月弥生の候ともなれば、そろそろ各地の花だよりが聞かれる。
 だが受験生にとつては花どころか、まさに背水の陣、これまでの努力の結果が問われるとあつては最後の仕上げに大わらわである。
 合格か、しからずんばコースの変更のどちらかを選ぶことになるが、「たつた一回の試験の結果で、その人の真価がきまるものでない」ことをお忘れなく。
 歌の文句でないが、「東京が駄目なら、大阪があるさ」の、あの心意気が肝要。
 「そこでお願ひ」
 遠いご親せきや、近くの知人の方で、受験生をお持ちの人に、さらには受験生の皆さんに、「あなたが励ましたらいいでしょう。」
 きつと喜ばれ、どんなに励ましになるかしれませんので、是非おすすしめします。



私達の川をきれいに!!

『自分だけなら』
『これ位なら』



人間の限りなく続く 未来のためにも

私達が毎日使っている水道の源は、信濃川の表流水をとり入れて、これを濾過し、滅菌して飲料水としております。最近、公害問題がやかましくなっており、その中で最も、関心をもちなければならぬのは、川の汚濁、汚染であります。川の汚濁は、工場の排水は勿論のこと、一般家庭においてもゴミや汚物油などを捨てることによる公害が少なくありません。『自分だけなら』、『これ位なら』と思つて個人、が川や附近の側溝に捨てられるものが、流れ流れて信濃川に流れこみ水道の取入れるところまで、ゴミや油が流れてきておられます。

信濃川が、油やその他で汚れたり、川水が濁つたときは信濃川から水道の水を取入れ、

信濃川が、油やその他で汚れたり、川水が濁つたときは信濃川から水道の水を取入れ、



「川水は三尺流れれば、キレイだ」という考え方はやめましょう。現在、信濃川から水道の水を取入れて使っている市や町は図表のとおり。「水はきれいにし、自然へかえそう」「水はきれいに、人間の限りなく続く未来のためにも」



日本海に出て
魚たちをなやます
おお、おそろしい

(野積橋より寺泊町
取水塔を望む)



廃油は流れる
分水にて、新潟と寺泊にわかる

(与板の水道の取水塔より下流を望む)



ある日廃油が
流れました。



黒川へと……



廃油は帯のように流れ



信濃川へと出る



▲グループ紹介▼
「むらさき会」
「若く、明るく、暖かく、そして力強い色紫」
本与板地区の若いお母さんの集まり「紫会」が結成してから三年目。
会員は十四・五名で、年度目標を持ち、共に語り、共に学び、そして会員の日常生活や家庭にうるおいを持つために造花作り、人形作り、カブロン染め、料理実習、他町村の若妻教室との交流会と巾広の活動内容である。
昨年は文集「紫」第一号を発行し、内容も「愛」「私の生きがい」「短歌・俳句」「詩」「一言コーナー」と豊富。又三月六日に県農漁家生活改善実績交換大会で体験発表をし、活気ある会である。
「与板民謡保存会」
毎月三と七の付く夜になると、公民館は十五夜祭りみたいになる。笛や太鼓や三味線そして、信濃大川、流れに……と与板小唄の歌声。
この会の練習は囃子組、踊り組と歌う組との合同練習方式(生囃子・レコードでないのが特色)である。
先般も、BSNラジオ「ハローサタデー」番組に集録放送され、一段と腕にみぎを付けている。
「与板ばやし」「与板小唄」等の正調保存と継承を目的とし、若者達に関心を持つてもらおうと、ただ今、努力中である。

早春のよろこび

与板小学校校長 当 銀 敏 雄

早春とともに、卒業生が、小学校を巣立つて中学生となる。この子たちは、恵まれた教育条件に育つた。それは与板小学校教育五か年計画に沿ったことである。子どもが、主体的に追求する学習の中で、主体性を身につけてくれたことや、与板小の宝物として、よいきまりをいくつも残してくれたことにあらわれている。卒業生一三九名、四学級編制は最大人数である。「今後



更に、友情の輪をひろげることに「今、はげめ」をはなむけに贈り、中学校での生活の充実を祈っている。この子たちに、一つだけ羨ましがれるものがある。新しい学校のことである。学校建築は地鎮祭がすんでいよいよ大業が始まったので実感が湧く。喜びがあり、期待があり、夢が無限に広がるのである。広いグラウンドを力いっぱい走りまわる子どもたちの声が聞えてくる。落着いた図書館や設備のとのつた、

きびしさに耐え、 たくましく伸びよ

与板中学校校長 金子 信 夫

今年もやがて、一五〇名の卒業生を送り出す。三年間の学業を終えて、巣立つ彼等の前途に、幸い多かれと祈るものである。さて、中学卒業からの四、五年は一生の中で心身の成長にとつて、最も大切な時期である。この期間に、ものごと耐え、自分のことは自分でやる力を身につける必要がある。最近の中学生の意識は、昔にくらべて、著しく変化を遂げている。教師と生徒の関係を例にとつても、縦の上下関係から横の同等の関係へと変遷している。そのため開放的で自由に話し合うというふんわりとした関係がある。しかし、その半面では教師と生徒の間に甘えがあり、きびしさに欠ける点が目につくようになった。このようなことは、親子の関係でも同じであらう。戦後、自信を失った親達は、新しい時代、激動す

視聴覚教室での真剣なまなざしが見える。雨雪の日にも遊びと遊びはねる体育館での嬉々とした、子どもの姿が浮かんでくる。すばらしい、外観と内容をもつた、与板小学校ができる。この勇断と実行に対し、深く敬意を表し、感謝の誠を捧げたい。この上は、円滑な工事の推移を願うのみである。学校にとつてもう一つのよろこびがある。与板小学校創立百周年を迎えるからであり、



与板の日本の発展に努力されたい。いくたの人材を輩出して今日がある。私たちは、子どもと共に、古きよき歴史と伝統を継承し今日を励み、明日への希望に胸をおどらせ、よりよいもの

を創造する教育の使命、学校の役割を考え、この年を祝い、はげみにしたのであります。卒業生、町民のみならず方のご協賛をお願いする次第であります。

る社会に対応する力を欠き、あるいは自分でそうきめこんで、子どもにあまり干渉しなかつた。そして必要以上に遠慮しているように思われる。それに家庭では豊かさの中で、ものに耐え、がまんするといふ躰けや訓練もされてない。子どもは、いわば過保護で育つてきているのである。人間は、生来わがまま者であり、欲望にも限りがない。よこしまな欲望をおさえ、くじけようとする心に鞭うち、くじけよとするとこらえる忍耐力が、今の若い者に一番強く要求される。したがって、親をはじめ関係の大人達が、彼等をよく理解し、暖かく見守つてやること。ともに、愛情

と心のふれ合いを通してのきびしい指導も必要である。そのためにも、せひ父親からもつと自信を取戻してもらいたいと思う。私は、卒業生の一人一人が就職、進学を問わず自律心を強め、きびしさと困難を乗り越えて、それぞれの道をたくましく進んでいくことを心から念願している。

そなえあればうれしいなし
交通共済に加入して
皆んな笑顔で
加入は3月31日迄に

